

「地域とつくる元気な西っ子」

福井市清水西小学校

1 取組の概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	1回
地域及び家庭への学校公開	14回

(2) 地域人材の活用（のべ人数）

講師・ゲストティーチャー	48人
授業ボランティア（含：低ボラ）	127人
登下校支援ボランティア	119人
その他（ ）	人

(3) 特色ある活動

テーマ「 体験活動の充実 」

具体的活動内容

「農業体験を通して、ふるさとの良さに触れ、豊かな心を育てる取組」

- 5月 講師から田植えや稲作についてのお話を聞く
もち米を西っ子田に手で植える 田植え体験
田んぼに看板を作る
- 6月 稲の生長を観察
- 7月 かかしを作り、田んぼに立てる
- 9月 稲の生長を観察
- 10月 稲刈りの手順を講師から聞く
稲刈り 手で稲を刈り、はさにかける
脱穀体験 脱穀見学
- 11月 収穫感謝祭 もちつき お礼の手紙など
- 12月 農業体験の振り返り



田植え



稲刈り

成果と課題

- 普段見慣れた田んぼの風景も、実際には農業体験した児童はほとんどいなく、田植えや稲刈りを通して、農業に目を向け、その大変さや楽しさを実感することができた。キャリア教育という点でも有効であった。
- 講師の人たち10名と何回かふれ合う中で、児童と心の交流ができた。講師の中には、児童のために何度も打ち合わせや準備に来ていただき児童との交流を楽しみにしてもらうことができた。児童も心地よい体験ができた。

- 教育課程に計画的に編成していたが、天候の都合で時間を短縮したり、延期したりと計画通りにいかないときがあった。天候に左右されるのは農業というものの特徴なので、自分の思い通りにはいかないということもあってもよいと考える。
- 農業体験を継続して取り組んでいきたい。そのために、講師の方々が気持ちよく児童とふれ合う体験内容を計画していく必要がある。

※A4版1枚で作成してください。